



舞台ファーム連携事業

境町の農業の未来を明るくする施策に取り組んでいます

境町は農業を応援します！

農業者の
皆さんが
笑顔になる
農業を！

VOICE



現在の米作りから、
未来の米販売へ

境町認定農業者連絡協議会
高橋大希さん

私は、普通作農家として就農 10 年目になります。様々な工場の見学を過去にもしてきましたが、舞台ファームさんの精米工場は今までに見たこともないハイレベルな工場でした。一生懸命育てた米を、より美味しく販売するために提携できればと思います！ 有意義な研修ができました、ありがとうございました。

VOICE



町の農業の未来が
とても楽しみです

さかい4Hクラブ会長
荒川征和さん

講演会、視察研修に参加して、経営規模の大きさを伺い、とても驚きました。現地で実際に見せていただいた、保管設備やビニールハウスの大きさに度肝を抜かれました。また、米だけではなく、青果も大規模にやられていて、これほどの規模の方々と手を組むということで、境町の農業がどれほど盛り上がっていくのか、とても楽しみです。

舞台アグリノベーション精米工場



先進的手法を学ぶため、視察研修に参加いただいた農業関係の皆さん



針生氏による、原料から商品の生産、販売まで、安定的な供給を行う方法についての研修



4万2,000tの米を保管可能な倉庫は、常に低温の温度管理で品質の向上を徹底しています



納品された玄米の検査体制の仕組みを見学



精米機械をモニターにより管理

第2弾

宮城県への視察研修

最先端の農産管理を行う
国内最大規模の工場を見学



みちさき大型水耕栽培施設



▲みちさき大型水耕栽培施設にて。通年栽培が可能な、葉物野菜のハウスを見学。市場のニーズを反映した水耕栽培による先進的手法に感嘆の声があがりました

第1弾

役場での講演会

農業が境町の未来を広げる
農業経営者人材育成講演会



▶これからの農業の未来について講演を行った、株式会社舞台ファーム代表取締役の針生信夫氏
▼地元土地改良区の役員やさかい4Hクラブの若手農業者など、150名を超える受講者の参加がありました



境町は農業を応援します！

農業の未来を考える
新しい農業のあり方

今年3月、町は株式会社舞台ファームと農業分野における包括連携協定を締結しました。これは、「農業経営者の育成」や「繁忙期の人手不足の解消」、「農業ドローンで作業の効率化」の3つの施策に取り組むもので、その第1弾として、6月16日（金）、役場4階会議室において、株式会社舞台ファーム代表取締役の針生信夫氏による農業経営者人材育成講演会が開催されました。針生氏は、「農業が境町の未来を広げる」をテーマに、自身の農業経験を交えながら、これからの農業の未来について話され、農業関係者を中心に集まった150名を超える方々は、針生氏の講演に真剣に耳を傾け、「新しい農業のあり方に非常に感銘を受けた」「今までの良いところを残しつつ、安定した収入を得られる構造や人材育成など、町の農業に大きな変化をもたらしていくと思った」などの感想が寄せられました。

農業先進地視察で
最先端の農業研修

7月1日（土）・2日（日）には、第2弾として宮城県にある舞台ファーム関連施設での視察研修

が進行されました。橋本町長をはじめ、認定農業者や4Hクラブなど農業者団体、農業委員や農協、土地改良区の役員など、41名の参加者のもと、国内最大級の精米施設「舞台アグリノベーション」精米工場（亘理町）における低温精米倉庫や、「みちさき大型水耕栽培施設（仙台市）」でホワイトセロリやサンチュといった葉物ハウスを見学し、これまでの契約栽培とは異なる先進的手法を学びました。ドローンの実演も行われ、農業散布や測量、生産物の点検など活用が期待されています。参加者からは、「農業者の高齢化や繁忙期の人手不足、安定収入に関する不安」の声や、「見学したカット用野菜の生産・流通などに関する興味」の声も多数聞かれました。今後、お米や野菜、ドローンの農業への活用など、より具体的な研修を行い、町の農業の活性化を推進してまいります。